

事故報告書(概要書)

第 4 報

2025 年 6 月 11 日

【工事番号】 2310164

報告者

池田 和樹

現場名	(仮称)大谷流レイクミストラルサイドホテル(50室)新築工事				
現場責任者名	池田 和樹				
労働者氏名			年齢		生年月日
現住所			職種	硝子工	TEL
勤務先	会社名	一人親方		所在地	
	TEL			雇入年月日	
契約関係	(一次) 東京マテリアル(株) → (二次)			→ (三次)	
災害発生年月日時	2025年 5月 14日		午前 午後	1時25分	
傷害名	裂傷			傷害部位	左手(親指2針、親指根本3針)
病院名	海保病院			治療日数	不休災害(全治2週間) 翌5月15日より仕事復帰
災害発生の実事確認者	氏名	池田 和樹		所属会社	京成建設株式会社
災害発生 の状況 (具体的に記入する)	4階客室でサッシのガラスを入れる作業を2人1組で行い、ガラスを押縁(縦押縁)で仮止めをしていた。その後、ガラスの固定作業をバルコニー側で脚立(4尺)を使用し単独で行っていた。仮固定していた押縁を外した際に、バランスを崩して、後ろに転倒し、ガラスも一緒に倒れてしまった。両手でガラスを掴もうとしたが、ガラスが脚立に当たり割れてしまい、左手を裂傷してしまった。 被災状況を確認し、救急車を要請しました。(13:40) 鎌田部長へ報告(13:44) 救急車到着(14:00) 病院で裂傷部を5針縫い、16時30分に現場に戻りました。				
原因	脚立の設置位置がガラスに近く、力の入りにくい状況だったが、脚立の位置を正さずにそのまま、作業をしてしまい、後ろにバランスを崩し、転倒してしまった。転倒した際に、ガラスの押縁が無い状態だったので、ガラスも倒れてしまった。				
処置	ガラスの押縁をセットする際は、二人一組で行い、一人はガラスを吸盤で押さえて倒れ防止を行った状態で作業する。 脚立は天板をまたいで使用せずに、踏み面に両足で立った状態で作業する。				
労災成立番号					

※ 連絡・報告については発注者、設計事務所、監督官庁(警察署、監督署、その他)等へは必要に応じて連絡すること。

状況写真・図面等(1)



状況写真・図面等(2)

